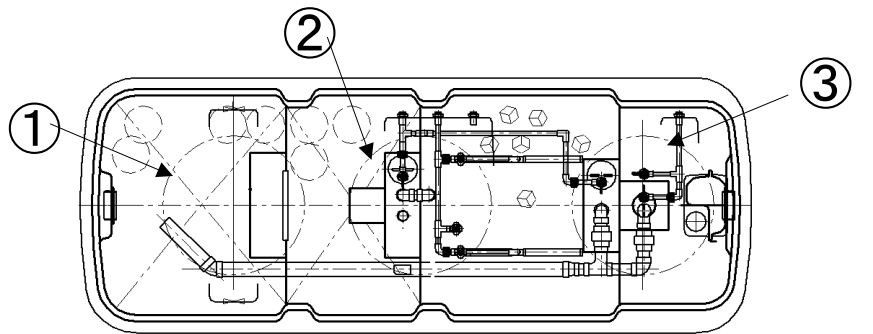
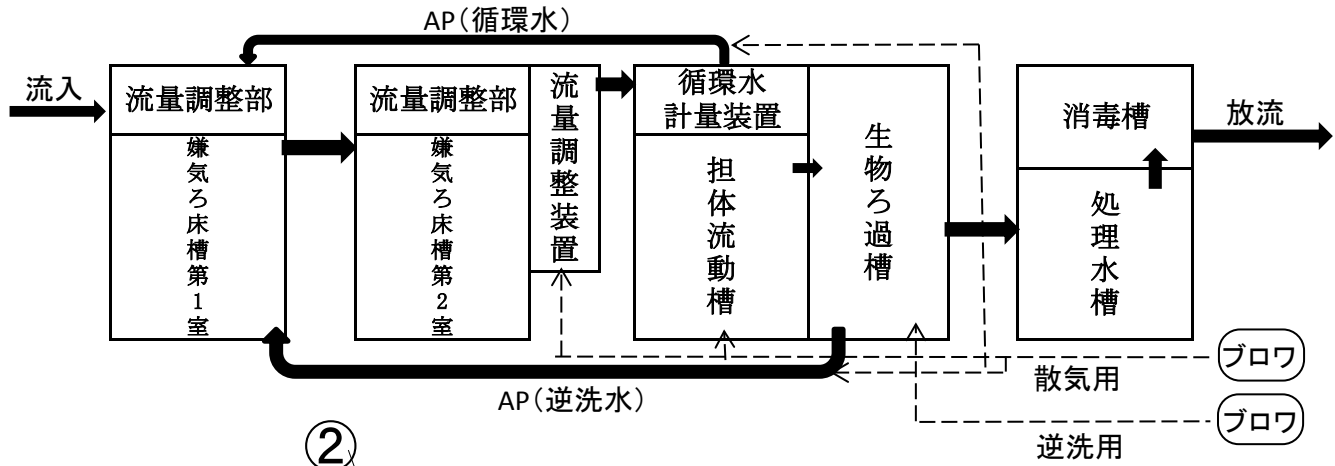
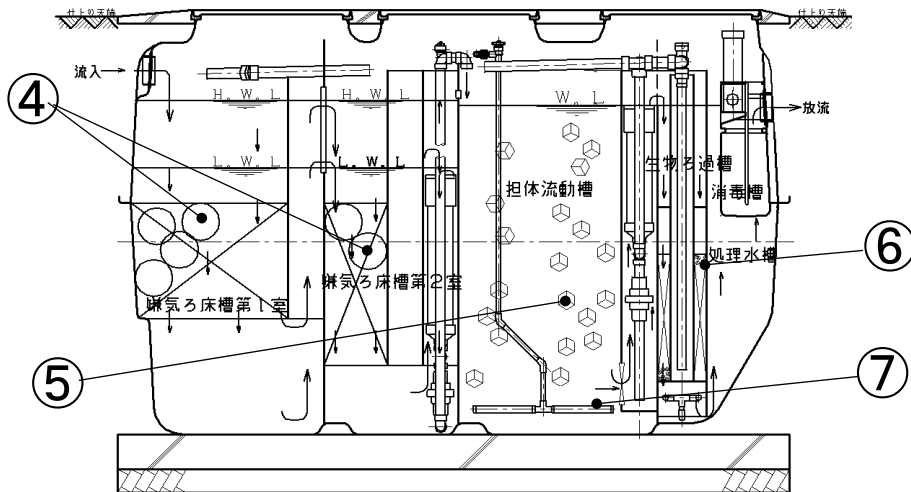


<b>α III 山正産業(株)</b> OEM: なし 共同開発: なし 処理方式: <b>流量調整型嫌気ろ床・担体流動循環生物ろ過方式</b> 5・7・10人槽	<b>窒素除去型</b>		
	全浄協登録値		
	BOD	SS	T-N
	20mg/L以下	—	20mg/L以下
	性能評定または性能評価値		
	BOD	SS	T-N
10mg/L以下	10mg/L以下	10mg/L以下	



- ①嫌気ろ床槽第1室
- ②嫌気ろ床槽第2室
- ③生物ろ過槽



- ④骨格様球状ろ材
- ⑤流動担体
- ⑥ろ過担体
- ⑦散気管

有効容量 (m <sup>3</sup> )		5人槽	7人槽	10人槽
槽名	嫌気ろ床槽第1室(L. W. L)	0.883	1.218	1.674
	嫌気ろ床槽第2室(L. W. L)	0.673	0.967	1.553
	〈流量調整部〉	0.363	0.503	0.716
	担体流動槽	1.112	1.585	2.036
	生物ろ過槽	0.058	0.082	0.135
	処理水槽	0.330	0.447	0.687
	消毒槽			0.022
合計		3.419	4.824	6.823

槽底部からろ材受け面までの距離(mm)	第1室	500	
	第2室	300	330

流量調整装置	流量調整バルブ目盛	循環装置	循環バルブ目盛	逆洗バルブ目盛	散気バルブ目盛	空気調整バルブ目盛
有	有	有	有	有	開	閉

人槽	ブロウ風量 (ℓ/分)	逆洗風量 (ℓ/分)	逆洗時間 (分)	逆洗時刻	逆洗回数 (回)	逆洗周期
5	80	40	10	3:00	1	1日
7	120	60				
10	150	100				

[人槽に対する流量調整・循環水量・逆洗水量の設定範囲]

人槽	5	7	10
流量調整 移送水量(5.2ℓ/回)	30秒 ON		
循環水量(3.9ℓ/回)	47秒 OFF	31秒 OFF	12秒 OFF
逆洗水量(ℓ/分)	2.7~2.8	4.1~4.3	5.3~5.5

特 徴

**嫌気ろ床槽** 嫌気ろ床槽第1室、第2室とも同一の骨格様球状ろ材が充填されており、第2室のバツフル内に間欠定量ポンプが設置され、流出水を担体流動槽へ移送する仕組みになっている。槽上部は流量調整部となっており、水位が変動する。

**担体流動槽** 担体流動槽は槽内にポリウレタン製50mmのキューブ状の担体が充填されており、槽内でばっ気された担体が流動してBOD除去と硝化反応が進行する。また、担体流動槽の一部の槽内水はバツフル底部の取水口を介して間欠定量ポンプにより嫌気ろ床槽第1室へ循環水として移送される。

**生物ろ過槽** 生物ろ過槽は担体流出を防止するための網様の担体受け面と押え面の間に、ポリウレタン製10mmのキューブ状の担体が充填されており、槽内水は担体充填部を下流に流れることでSSが補足される。生物ろ過槽から処理水槽への移流口が閉塞しないためにタイマー制御によって1日1回逆洗が行われ、担体が攪拌混合される。その際に剥離した汚泥は補足量の多い上部側から槽内水とともにさや管底部の取水口よりエアリフトポンプにて嫌気ろ床槽第1室へ移送される。

**流量調整装置・循環水計量装置** 流量調整装置と循環水計量装置2つのポンプは連動しており、流量調整用間欠定量ポンプのタイマーを設定すれば循環水用間欠定量ポンプの設定も自動で完了する仕組みになっている。

**ブロー** 散気用(ばっ気、間欠定量ポンプ)と逆洗用で2台設置されており、1台の3方電磁弁が設置されている。

作 業 時 の ポ イ ン ト

**保守点検**

- ①ブローやタイマーの設定を必ず確認してください。
- ②流量調整装置・循環水計量装置の2つのポンプは連動しており、流量調整用間欠定量ポンプのタイマーを設定すれば、自動的に循環水用間欠定量ポンプの設定も完了します。タイマー設定を確認(上表参照)し移送水量の測定を行ってください。
- ③担体流動槽の槽内水の性状、ばっ気・攪拌状況、担体の流動状況を確認してください。
- ④生物ろ過槽の槽内水の性状、逆洗の状況を確認してください。  
流出水にSSの増加または、閉塞が認められた場合は、逆洗時間および回数の設定変更を検討してください。
- ⑤処理水槽のスカム、堆積汚泥を確認。柄杓や自吸式ポンプ等で嫌気ろ床槽第1室に移送してください。

**清掃**

- ①嫌気ろ床槽第1室の汚泥・スカム等は、全量引き抜いてください。第2室は適正量としてください。  
その他の単位装置は必要に応じて実施してください。